

日本人の歴史

2680 地区 PDG 田中 毅

I 日本列島の起源

日本列島の起源を知るためには、まず、地球の起源を知らなければなりません。

原始の宇宙の中で数多くの隕石がぶつかり合っては合体して地球ができました。巨大な隕石が次から次に落ちてきて、地球の表面は 4400 度を超える高温のマグマで覆われていました。マグマに含まれていた数多くの放射性物質の半減期を計算することによって、46 億年掛かって高温のマグマの塊は現在の地球になったことが分かっています。

当時の大気には酸素は無く、大量の炭酸ガス、水蒸気、さらに一酸化炭素、窒素によって成り立っていました。

40 億年前に冷えたマグマからできたプレートの上にたまった水蒸気が液化して原始海洋ができました。地球上に生命が誕生したのもその直後であったと言われています。



20 億年前に空気中の酸素量が増加して、最古の生物が絶滅し、現在の生物が生まれて、進化していきました。

10 億年前に地殻変動によってプレートが隆起して、大陸ができました。

8~6 億年前に大規模な氷河期を迎えて、地球全体が凍り付きました。この頃、地球の酸素濃度が現在に近づきました。



4 億 2000 万年前にはほとんどの大陸は赤道から南半球に集まっていた。

3 億年前には爬虫類が出現しました。

2 億 6000 万年前になると、全ての大陸が衝突を繰り返して大きな塊となって北上し、2 億年前には北半球では幾つかの大陸のかけらが集まってユーラシア大陸を形成しました。

2 億 5000 万年前に恐竜の出現。最古の哺乳類が出現しました。

1 億 4000 万年前には、アメリカ大陸とアフリカ大陸が分離して大西洋ができました。

両大陸が分離したことは、アメリカの東海岸とアフリカの西海岸の形や地質が全く同じことで証明されています。

1 億 3000 万年前には日本列島を含むユーラシア・プレートの東側に大規模な横ずれ断層が生じ、



それが後の日本海溝となります。日本列島の地質は、この年代の地質で構成されていることが分かっています。

日本列島の太平洋岸を横断するプレートの沈み込みによってできた中央構造線は、1億3千年前の赤道付近のプランクトンからできた石灰岩からできています。黒瀬川構造体は4億年前、秩父帯は3億年前の地層です。その他1億年前、9000年前、7000年前などの数々の地層が混ざり合って、古い地層が上に、新しい地層が下になって、日本列島の地層ができています。

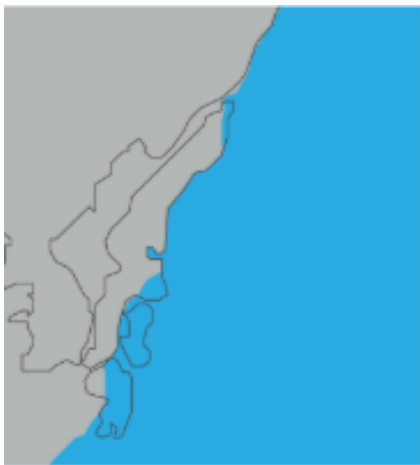
4500万年前にインド大陸が北上して、ユーラシア大陸に衝突して、ヒマラヤ山脈ができました。

2500万年前の最古の類人猿の化石がケニアで見つかりました。さらにこの年代に、アルプス山脈ができました。

日本列島は4000万年前までは大陸と地続きでしたが、2000万年前に大規模な地殻変動が起こって、大陸の淵の地溝帯に海が侵入して浸食が進み、3000メートル級の高海溝と海底が拡大して、日本海ができました。更に50万年前には、伊豆半島の衝突によって「く」の字型に大きく歪み、現在に近い日本列島ができました。

20万年前にネアンデルタール人が出現しました。14万3000年前にホモ・サピエンスがアフリカに出現し、10万年前には世界各地に広がりました。そして3万年前にネアンデルタール人が絶滅しました。

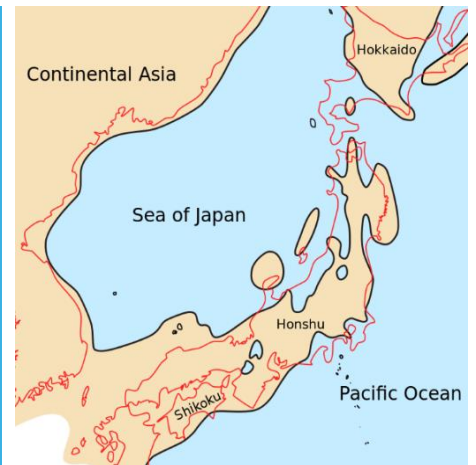
2万年前の氷河期に、対馬海峡と津軽海峡によって大陸から完全に分断されましたが、北海道は大陸と地続



4000万年前



2300万年前



300万年前

きでした。この海峡の深度は200メートルであったため、氷河期でも凍りませんでした。

1万3000年前、宗谷海峡が水没して、日本列島は現在の形になりました。外敵を阻むかのように、周囲を海に囲まれた地形。これが日本独特の文化を育むことになったのです。

地質学的な年代は放射性炭素年代測定法の算定によるので、かなり正確な数字が出ますが、地球成り立ちはあくまで仮説に過ぎません。過去に戻って考証することも、研究室で追試をすることも不可能です。

そこに宗教が生まれる素地があるのかも知れません。旧約聖書では「神」が天地創造したと書かれていますが、古事記では、天地が創造された時に「神」が現れたと書かれています。「神」を唯一絶対の存在と考える聖書の世界観と、すべてのものに神が宿る、八百万の神を信奉する日本とは大きな違いがあります。



2万年前